

2024年
11月号
✪

原水協通信 (大阪版)

国連 NGO 原水爆禁止日本協議会
毎月1回6日発行
〒113-8464 文京区湯島2-4-4
(大阪原水協)〒542-0012
大阪市中央区谷町 7-3-4
新谷町第3ビル 210号
電話 06(6765)2552
FAX 06(6765)2837



日本被団協 ノーベル平和賞受賞！ 核兵器のない平和な世界の実現を！

「核」VS「核」は破滅への道

10月11日、日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞しました。被爆者は、自らの体験、証言を通して、核兵器の廃絶を世界に訴え続けてきました。核兵器の使用を人道的な禁止手続「核のタブー」とする世界的な規範の成立に、被爆者の証言が大きく貢献したと、ノーベル委員会がたたえています。

ウクライナでもガザでも、核兵器の使用をほのめかした威嚇がくりかえされています。世界は「核のタブー」を打ち消す、核兵器使用の危機を迎えています。その危機、脅威に対して、核兵器で対抗することは、破滅の道ではありません。

与党自民党総裁選の議論の中では、「核共有」についても議論をするべきだ」といった恐ろしい発言も出てきています。

アメリカの核兵器戦略のもとで、日本が軍事大国化を進めることは、アジアでの軍事的緊張を高め、わたしたちの未来を奪うものです。



非核平和の声を強めて

世界は、核兵器禁止・廃絶へ日本のリーダーシップを待っています。唯一の被爆国でありながら、「核の傘」に依存する政府を変えることは、被爆者の願い、核兵器のない平和な世界実現への大きな近道です。核兵器禁止条約に日本の参加を求める署名を今こそ訴えて、訴えて、行動を拡げていきましょう。

いわさきちひろ2025年版 カレンダーの積極的な普及 のお願いします！

平和へのねがいをたくして

いま、戦争や武力紛争で多くの子どもたちの尊い命が失われています。すべての子どもたちの未来に戦争も核兵器のない平和で公正な世界をの願いを広げるために運動を支え広げよう、協力下さい。また、お寄せいただいた募金でカレンダーを被災地へ届けます。

大阪原水協迄

申し込んで下さい。



- 環境にやさしい紙で綴じるホットメルトを採用
 - 大豆を原料とした植物性インクを使用
 - A2判・絵7枚
 - 頒価1650円(税込)
- ※25本以上は送料無料となります。

日本政府に核兵器禁止条約への 署名・批准を求める意見書決議

688自治体

(2024年9月25日現在)

■大阪府(10):和泉市議会、泉佐野市議会、摂津市議会、高石市議会、富田林市議会、阪南市議会、河南町議会、太子町議会、忠岡町議会、岬町議会

☆ 核兵器禁止条約の署名・批准を求める 署名の到達

2024年10月22日の到達 127,668筆

大阪原水協は、毎月22日を集約日としています。

各団体・地域原水協・個人より報告をお願いします。

報告は、FAX 及びメール、署名の郵送等をお願いします。

核兵器禁止条約に参加する日本を！

核兵器禁止条約に参加する日本を実現する歴史的チャンス！
全国交流会に向けてすべての市区町村で署名・原爆展・自治体意見書にとりくみましょう

2024年10月31日 非核日本キャンペーン推進委員会

全国のみなさん、いま被爆80年を前にして、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を迫る歴史的チャンスを迎えています。

10月11日、日本被団協がノーベル平和賞を受賞しました。これはノーベル委員会の受賞理由にあるように、被爆者が自らの体験を通じて核兵器の廃絶を訴え続け、核兵器に悪の烙印を押し、世界に「核のタブー」を作り上げてきたこと、80年近く一発の核兵器の使用も許さない力となってきたことが評価されました。歴史的快挙に国連事務総長をはじめ各国の政府指導者、各界各層のリーダー、一般市民も祝福の声をあげています。そして、日本被団協はノーベル平和賞を受けて、日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名・批准することを求めています。

この間、日本原水協をはじめ各地の原水協は「祝 日本被団協ノーベル平和賞受賞」の横断幕をかかげて、街頭宣伝・署名にとりくんできています。どこでも市民から歓迎の音が寄せられ、禁止条約参加署名はいつも数倍集まっています。日本被団協のノーベル平和賞受賞を祝福し、被爆者が求める核兵器禁止条約への日本の参加をもとめる行動に踏み出しましょう。

先日の総選挙で与党の自民党と公明党は議席を大幅に減らし、過半数を失いました。核兵器禁止条約に背を向け続け、「核の傘」にしがみつくと被爆国にあるまじき政治に国民の審判が下されました。これまで通りの対米追従一辺倒の強権政治が通用しない新しい政治局面がひらかれようとしています。圧倒的な国民世論と運動を築くならば核兵器禁止条約への署名・批准を実現する現実的な道をひらくことができます。

こうした国民世論と政治の変化をとらえて、以下の行動にとりくみましょう。

① 12月10日の日本被団協のノーベル平和賞受賞式にむけて、ノーベル賞受賞を伝え、祝福し、核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名行動に取組みましょう。行動では、被爆者や自治体関係者に声をかけ、受賞を祝うイベント(花束の贈呈や祝辞)をおこなうなど広く市民にアピールしましょう。

② 日本被団協のノーベル平和賞受賞記念の原爆展、原爆の絵展の開催(被爆者への祝福、証言も)を自治体、町内会、学校など広く呼びかけ、すべての市区町村で共同のとりにくみとして無数に開催しましょう。

③ 12月、3月議会にむけて、自治体意見書決議の請願・陳情にとり

被爆者とともに

核兵器のない世界を

被爆者援護・連帯募金のお願い

全国の被爆者は平均年齢85歳を超えました。いまも、原爆によって「こころ」からだ、くらしに困難を抱えながら、核兵器廃絶へ、命がけの訴えを続けています。

私たち日本原水協は被爆者援護・連帯をその目標として掲げ、毎年、「被爆者援護・連帯募金」とりくんできています。これから年末にかけて、とりくみを強め、被爆者団体、被爆者のみなさんにとりくみます。

被爆者を励まし、支える大きな力となります。みなさんの募金をぜひお願いします。

核兵器禁止条約に唯一の戦争被爆国である日本が参加すること、被爆者とともに核兵器廃絶に向けて、日本がリーダーシップを発揮することを世界が求めています。核兵器禁止条約に日本の参加を求める署名にご協力をお願いします。



くみましょう。その際、被爆者団体(被爆者)とともに、ノーベル平和賞受賞の記念としてすべての会派、議員に賛同をよびかけましょう。

【お知らせ】① 大阪原水協 総会開催のお知らせ

2024年11月22日(金) 18:30~20:00

社会福祉会館403号室 で行います。

② アメリカ領事館前宣伝 11月18日12時から行います。

③ 【被団協】ノーベル平和賞受賞を祝う会 =茶話会=

12月14日(土)14:00~ 新婦人の会議室(予定)

